

平成15年10月1日

日本銀行山形事務所

全国企業短期経済観測調査結果(15年9月)

山形県内分

1. 業況判断      冷夏が響き、足もと、先行きとも小幅ながら悪化。足もとは7期振りの悪化(6月 27 9月 31 12月 35)。

製造業は、冷夏に伴う飲食品や衣料品の販売不振から食料品、繊維が悪化したほか、電気機械が設備関連などの売上減から悪化したため、前回6月調査に比べ10%ポイントの悪化となった。

先行きについては、電気機械がデジタル関連製品の需要増加からプラス(「良い」とする先が超過)に転じるものの、食料品、繊維に加え、一般機械の一部でも冷夏による農業用機械等の需要減少懸念から悪化を予想しており、全体としては横這いの見通しとなっている(6月 17 9月 27 12月 27)。

非製造業は、建設、卸・小売が依然業況低調ながら、一部サービスが広告収入増から改善したため、前回6月調査に比べ+6%ポイント改善した。

先行きについては、サービスが引続き改善するものの、運輸・倉庫、建設が先行き不安等から悪化を予想しているため、再び悪化する見通しとなっている(6月 44 9月 38 12月 46)。

2. 売上高・経常利益      15年度の売上高は前年度比横這いながら、経常利益は前回6月調査に比べ若干下方修正され減益となる計画(売上0.0%、経常利益 5.3%)。

製造業は、食料品が冷夏の影響等から小幅の減収減益を予想。電気機械は増収見込みながら一部先での販売価格下落等から減益となる予想。このため、全体では小幅の増収減益となる計画(売上+1.8%、経常利益 3.6%)。

非製造業は、運輸・倉庫が増収増益を予想しているものの、建設が公共工事減少から減収減益となる見込み。このため、全体では小幅の減収減益となる計画（売上高 3.3%、経常利益 7.9%）。

3. 設備投資 15年度の設備投資額は前回6月調査に比べ大幅に上方修正され、前年度を4割方上回る計画（+38.4%）

製造業は、ウェイトの高い電気機械を中心に能力増強投資を上積みする動きがみられたことから、前回6月調査に比べ4割方上方修正され、前年度を5割上回る計画（+51.2%）。

非製造業は、卸・小売が前年度の新規出店投資の反動等から減少したため、前年度を1割方下回る計画（-10.7%）。

4. 雇用人員判断 足もとやや改善（過剰感後退<「過剰」「不足」の回答社数構成比>）したものの、先行き再び悪化の予想（6月 23 9月 18 12月 27）

製造業は、電気機械が改善したものの、繊維、一般機械等が悪化したため、ほぼ横這いとなった。先行きについては食料品、繊維等で悪化を予想（6月 19 9月 18 12月 25）。

非製造業は、建設の一部で受注獲得から過剰感がやや後退したため7%ポイント改善したが、先行きは再び悪化を予想（6月 28 9月 21 12月 29）。

以上